



介護の現場から



突然、降りかかってくる介護、現状はどうなのでしょう。

「医療費・介護費、お金がすごくかかる」

Kさん（72歳）は、在宅でご主人の介護をされながらヘルパーとして10年近く自転車で走り回って働いてきました。

5年前、ご主人が69歳の時にまだらボケが始まり、2年前に一過性の脳梗塞を起こしてから麻痺がないのに足が出ない、歩けない状態になりました。要介護4↓

5、ご主人は、特別養護老人ホームに入所を待ちながら、今年病院で亡くなりました。その間、一過性の脳梗塞の再発が2回起き、心臓肥大症で大病院の集中治療室に1ヶ月に入院しました。

「認知症が入っていると、自分でペースメーカーの操作ができないのでつけてもらえなかった。転院して地元の介護療養病棟に入ってリハビリで歩けるようになったけど、差額ベッド代・食費・介護保険料・おむつ代で1ヶ月で入院費が50万近くかかって、本人がその金額に驚いて退院しちゃったけど、また歩けなくなっちゃって」

80 kg近いご主人を起こすのは40 kgのKさんには大変なこと、自分でサラシに古いバスタオルを縫いつけて※介護用ロープを使って起こしていました。ショートステイやデイサービスを利用しても在宅介護を一人するには限界があります。娘夫婦に同居してもらい、3人で助け合いながら介護してきました。

「もうヘルパーはしない。事業所は営利主義だったし、報われない」

現在、Kさんはヘルパーとして復帰せず、週2回ボランティアで介助をされています。

「歩かないから歩けなくなった」とKさんのご主人と同じように一過性の脳梗塞を起こしてから要介護5になったご主人（72歳）の介護に悩むNさんは介護費の他に往診費・薬代で1ヶ月2万近くかかります。Iさん（66歳）も要介護4の78歳のご主人を介護していますが、週3回のデイサービスと週2回リハビリに通い、自宅ではなるべくイスに座らせ、昼間は寝ないように、TVや新聞を見せています。リハビリのおかげで、今は杖があれば歩ける状態になってきました。「ケアマネ・ヘルパー・医師、いい人に当たるか当たらないかって大きな問題だよね」

介護を受ける家族に向けての情報交換の場があればいいのですが、頼るのはケアマネ・ヘルパーしかないのが現状です。医療費・介護費・家族への負担が実際どうなのか、その場に直面しないとわかりません。介護状態に応じてサービスを受けられますが、サービスの1割は自己負担、限度額超え利用したサービスや公的介護保険に含まれないサービスは全額自己負担、その他おむつ代・医療費・交通費・衣類・寝具代などにかかる平均額は3万3千円/月。悩んでおられる方は多いと思います。介護の現場から、体験談を教えてくださいませんか。

※介護用ロープの作り方を知りたい方はご連絡下さい。Kさんをご紹介致します。

★中秋の名月鑑賞会

日時 9月26日（水）午後7時〜

場所 JR南千住駅前

向島百花園 入場料150円。65歳以上70円 飲み物・抽選会あり

申込みTEL (3803) 5210 杉山さんまで

★ご注意

9月の富くじ市は、第4土曜日の9月22日午後1時〜延命寺前で開催されます。くじ引きやお得な事が沢山主権コッ通り商店街